

鬼石病院事業会計

令和2年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

(1) 決算書

令和2年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業決算報告書	
同	損益計算書
同	剰余金計算書
同	欠損金処理計算書(案)
同	貸借対照表
同	キャッシュ・フロー計算書

(2) 決算付属書類

令和2年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業報告書	
令和2年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計収益費用明細書	
同	資本的収入支出明細書
同	固定資産明細書
同	企業債明細書

第2 審査の期間

令和3年6月21日から同年8月10日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から提出された決算書及び決算付属書類が、関係法令の規定に従い作成されているか、また事業の財政状況及び経営成績を適正に表示しているかを検証するため、総勘定元帳をはじめ関係諸帳簿及び証拠書類等の照合確認のほか、貯蔵品については棚卸に立合い、確認をした。

次に、経営内容を把握するため計数の確認分析を行い、事業運営が地方公営企業法第3条の趣旨に従ってなされているかを主眼に審査を行い、必要に応じて担当職員の説明を聴取した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書及び財務諸表は、地方公営企業法及び関係法令の定めるところにより作成されており、この会計処理については、公営企業会計の原則に準拠して行われ、その計数は正確であり、関係諸帳簿と一致している。

事業の経営成績及び財政状況は適正に表示されているものと認めた。

なお、現金の年度末残高は病院事業出納取扱金融機関の預金残高と一致していた。

病院事業

第5 審査の概要

1 業務状況

(1) 病床利用状況

区 分	一般病床	療養病床	令和2年度	令和元年度
許可病床数(床)	52	47	99	99
年間許可病床数(床)	18,980	17,155	36,135	36,234
延患者数(人)	17,204	15,834	33,038	32,026
1日平均患者数(人)	47.1	43.4	90.5	87.5
病床利用率(%)	90.6	92.3	91.4	88.4

令和2年度における延許可病床数は36,135床で、延患者数は33,038人である。

(2) 患者数及び料金収益

(消費税抜)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減	増減率	
入	患者数 (人)	延 患 者 数	33,038	32,026	1,012	3.2
		1日平均患者数	90.5	87.5	3.0	3.4
院	料金収入 (円)	総 額	835,506,927	819,790,818	15,716,109	1.9
		1人1日平均	25,289	25,598	△309	△1.2
外	患者数 (人)	延 患 者 数	18,867	20,706	△1,839	△8.9
		1日平均患者数	64.4	71.2	△6.8	△9.6
来	料金収入 (円)	総 額	120,288,164	131,829,976	△11,541,812	△8.8
		1人1日平均	6,376	6,367	9	0.1

令和2年度における入院患者数は33,038人で、前年度と比較して1,012人(3.2%)増加している。また、年間外来患者数は18,867人で、前年度と比較して1,839人(8.9%)減少し、一日平均では6.8人の減少となっている。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外来患者数は減少している。

料金収入は、入院では835,506,927円で前年度と比較して15,716,109円(1.9%)増加し、外来については120,288,164円で前年度と比較して11,541,812円(8.8%)の減少となっている。

なお、過去3年間の病院業務の概要は別表1のとおりである。

2 決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
医 業 収 益	987,099,000	1,007,939,794	20,840,794	102.1
医 業 外 収 益	196,183,000	198,788,498	2,605,498	101.3
特 別 利 益	28,861,000	28,859,790	△ 1,210	100.0
訪問看護ステーション収益	28,013,000	27,919,920	△ 93,080	99.7
計	1,240,156,000	1,263,508,002	23,352,002	101.9

病院事業収益の決算額は1,263,508,002円で、予算額1,240,156,000円に対して101.9%の収入率であり、前年度決算額1,187,879,647円と比較して75,628,355円(6.4%)の増加となっている。

収入内訳は、医業収益1,007,939,794円、医業外収益198,788,498円、特別利益28,859,790円(新型コロナウイルス感染症従事者慰労金、特別損失に同額を計上)、訪問看護ステーション収益27,919,920円となっている。

支 出

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
医 業 費 用	1,214,002,000	1,179,745,919	0	34,256,081	97.2
医 業 外 費 用	21,528,000	17,778,555	0	3,749,445	82.6
特 別 損 失	29,361,000	28,859,790	0	501,210	98.3
訪問看護ステーション費用	32,526,000	32,031,646	0	494,354	98.5
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0
計	1,298,417,000	1,258,415,910	0	40,001,090	96.9

病院事業費用の決算額は1,258,415,910円で、予算額1,298,417,000円に対して96.9%の執行率であり、前年度決算額1,249,959,510円と比較して8,456,400円(0.7%)の増加となっている。

病院事業収益決算額1,263,508,002円(うち仮受消費税及び地方消費税3,768,860円)に対し、病院事業費用決算額は1,258,415,910円(うち仮払消費税及び地方消費税25,958,002円)で、当期決算の収支差額(収入-支出)は5,092,092円であり、前年度の△62,079,863円と比較すると、67,171,955円の増加となっている。主な要因として、入院患者数の増加や新型コロナウイルス感染症に関連する補助金等の収入増加に加え、人件費や材料費の削減を行ったことがあげられる。

なお、詳細については、病院事業会計予算決算対照表(別表2)のとおりである。

病院事業

(2) 資本的収入及び支出

収 入		(単位：円・%) 消費税込み		
区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
企 業 債	19,800,000	19,800,000	0	100.0
他 会 計 補 助 金	51,760,000	51,760,601	601	100.0
固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0
計	71,561,000	71,560,601	△ 399	100.0

資本的収入の決算額は71,560,601円で、予算額71,561,000円に対して100.0%の収入率であり、前年度決算額55,449,041円と比較して16,111,560円(29.1%)の増加となっている。他会計補助金の内訳は、企業債償還元金分24,810,601円、過疎債19,800,000円、国保調整交付金7,150,000円である。

支 出		(単位：円・%) 消費税込み			
区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
建 設 改 良 費	50,871,000	48,217,826	0	2,653,174	94.8
企 業 債 償 還 金	41,386,000	41,385,413	0	587	100.0
計	92,257,000	89,603,239	0	2,653,761	97.1

資本的支出の決算額は89,603,239円で、予算額92,257,000円に対して97.1%の執行率であり、前年度決算額76,775,887円と比較して12,827,352円(16.7%)の増加となっている。

また、当年度に実施された建設改良費は、器械備品購入費43,724,450円、リース債務支払費1,028,376円、工事請負費3,465,000円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額18,042,638円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額142,880円と過年度分損益勘定留保資金17,899,758円で補っている。

3 損益計算書

(1) 経営状況

当年度の経営実績は、事業収益が1,260,607,055円と対前年度6.3%増加したのに対し、事業費用は1,255,769,240円と対前年度0.6%の増加となり、差し引き4,837,815円の利益を計上している。公営企業の収支内容を示す総収支比率(別表5)は、100.4%で前年度と比較して5.4ポイント上昇している。

また、経営状態を示す医業収支比率(別表5)も、87.1%で前年度と比較して4.5ポイント上昇している。

なお、経営状況は損益計算書前年度比較表(別表3)のとおりである。

主要科目の状況を前年度と比較すると次表のとおりである。

収益費用の前年度比較表 (単位:円・%) 消費税抜き

区分	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
(事業収益)	1,260,607,055	1,185,921,689	74,685,366	6.3
医業収益	1,004,829,554	974,537,605	30,291,949	3.1
医業外収益	199,106,871	185,391,404	13,715,467	7.4
訪問看護ステーション収益	27,810,840	25,992,680	1,818,160	7.0
特別利益	28,859,790	0	28,859,790	皆増
(事業費用)	1,255,769,240	1,248,139,103	7,630,137	0.6
医業費用	1,153,955,627	1,180,434,255	△26,478,628	△2.2
医業外費用	41,086,127	35,893,271	5,192,856	14.5
訪問看護ステーション費用	31,867,696	31,811,577	56,119	0.2
特別損失	28,859,790	0	28,859,790	皆増
純利益(△純損失)	4,837,815	△62,217,414	67,055,229	△107.8

(2) 事業収益

事業収益のうち医業収益は、前年度と比較して30,291,949円(3.1%)増加している。これは公立藤岡総合病院の後方支援病院の機能が発揮され、高い病床利用率が確保できたことや新型コロナウイルス感染症に関連する補助金の交付が主な要因である。

(3) 事業費用

事業費用のうち医業費用は、前年度と比較して26,478,628円(2.2%)減少している。これは主に、給与費が前年度と比較して39,036,414円(4.7%)減少したことが要因である。

医業外費用は、前年度比5,192,856円(14.5%)の増加となっている。これは雑支出が前年度と比較して6,179,274円(22.7%)増加したことが主な要因である。

4 剰余金計算書

利益剰余金は、前年度末残高△1,113,862,183円と当年度純利益4,837,815円を合計した△1,109,024,368円となっている。

資本剰余金は、前年度末残高21,864,277円から他会計負担金受入額1,276,601円が増加され当年度末残高23,140,878円となった。受贈財産評価額、寄附金、国県補助金については変動はなかった。

資本金も変動はなく、資本合計は前年度末残高356,763,341円から当年度純利益4,837,815円と他会計負担金受入額1,276,601円を合わせ当年度末残高362,877,757円となった。

5 欠損金処理計算書(案)

当年度未処理欠損金1,115,524,368円については、全額を翌年度繰越欠損金として計上している。

6 貸借対照表

財政状況の前年度比較表

(単位:円・%)

区 分		令和2年度	令和元年度	増 減 額	増減率	
資 産	固定資産	940,292,926	961,262,562	△ 20,969,636	△ 2.2	
	流動資産	554,715,824	526,125,802	28,590,022	5.4	
	合 計	1,495,008,750	1,487,388,364	7,620,386	0.5	
負 債 ・ 資 本	負 債	固定負債	727,803,479	765,023,712	△ 37,220,233	△ 4.9
		流動負債	196,677,953	180,855,008	15,822,945	8.7
		繰延収益	207,649,561	184,746,303	22,903,258	12.4
		計	1,132,130,993	1,130,625,023	1,505,970	0.1
	資 本	資本金	1,448,761,247	1,448,761,247	0	0
		剰余金 (△欠損金)	△ 1,085,883,490	△ 1,091,997,906	6,114,416	△ 0.6
		計	362,877,757	356,763,341	6,114,416	1.7
	合 計	1,495,008,750	1,487,388,364	7,620,386	0.5	

(1) 資 産

当年度末の資産合計は1,495,008,750円で、前年度と比較して7,620,386円(0.5%)増加している。固定資産は940,292,926円で、前年度と比較して20,969,636円(2.2%)の減少、流動資産は554,715,824円で、前年度と比較して28,590,022円(5.4%)増加している。

(2) 負 債

当年度末の負債合計は1,132,130,993円で、前年度と比較して1,505,970円(0.1%)増加している。固定負債は727,803,479円で、前年度と比較して37,220,233円(4.9%)の減少、流動負債は196,677,953円で、前年度と比較して15,822,945円(8.7%)の増加である。また、繰延収益は207,649,561円で、前年度と比較して22,903,258円(12.4%)増加している。

(3) 資 本

当年度末の資本合計は362,877,757円で、前年度と比較して6,114,416円(1.7%)増加している。資本金は1,448,761,247円で、前年度と同額であり、欠損金は1,085,883,490円で、前年度と比較して6,114,416円(0.6%)減少している。

なお、詳細は、別表4のとおりである。

病院事業

7 企業債の償還

企業債償還状況と入院外来収益に対する償還比率の推移は次のとおりである。

企業債償還状況と償還比率表

(単位：円・%)

年度	入院外来収益 (A)	企業債元利償還金			未償還残高	償還 比率
		元 金	利 息	計(B)		
21	928,386,127	27,438,928	27,110,315	54,549,243	908,521,624	5.9
22	936,586,987	40,726,270	25,962,762	66,689,032	875,095,354	7.1
23	867,669,589	57,889,393	24,474,371	82,363,764	819,905,961	9.5
24	847,397,146	60,039,498	22,727,523	82,767,021	766,366,463	9.8
25	874,959,017	60,980,953	20,914,689	81,895,642	723,185,510	9.4
26	888,652,508	59,793,542	19,071,781	78,865,323	663,391,968	8.9
27	898,754,461	59,052,254	17,134,456	76,186,710	615,139,714	8.5
28	820,754,652	59,216,257	15,135,409	74,351,666	571,223,457	9.1
29	896,298,768	63,327,980	13,041,145	76,369,125	520,795,477	8.5
30	982,534,670	67,717,774	10,848,325	78,566,099	480,777,703	8.0
元	951,620,794	50,752,731	8,566,357	59,319,088	440,524,972	6.2
2	955,795,091	41,385,413	7,617,667	49,003,080	418,939,559	5.1

(注) 償還比率は $B/A \times 100$

上表で示すとおり、当年度における企業債元利償還金は 49,003,080 円で、前年度と比較して 10,316,008 円 (17.4%) 減少している。

また、入院外来収益に対する企業債元利償還金は 5.1%で、前年度と比較して 1.1 ポイント低下した。

8 むすび

令和2年度の鬼石病院の年間延患者数は、入院患者 33,038 人、外来患者 18,867 人で、前年度と比較し入院患者数が 1,012 人増加し、外来患者数が 1,839 人減少した。特に外来患者数は減少を続けており、平成27年度に3万人を下回って以降、ついに2万人を切っている。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えも要因としてあげられる。

また、病床利用率については、平成22年度までは95%以上の高水準を維持してきたが、平成23年度から低下傾向となり、平成28年度には80.9%まで低下したものの、令和元年度は88.4%、令和2年度は91.4%と回復の兆しをみせている。

地域別の患者構成を見ると、入院患者は鬼石地区が33.8%、藤岡地区が32.5%、その他県内（神流町、上野村等）が9.2%、県外（近接する埼玉県神川町等）が24.5%となっている。また、外来患者は、鬼石地区61.7%、藤岡地区6.1%、その他県内2.7%、県外29.5%であり、地域医療の中核的な役割を担っている。

経営状況について見ると、平成20年度から欠損金が生じている中で、昨年度は62,217,414 円の純損失となったが、令和2年度の損益勘定収支は、事業収益1,260,607,055 円に対し、事業費用1,255,769,240 円で、差し引き4,837,815 円の純利益を計上している。過疎地域・山間僻地における医療供給体制は、通院困難者の問題、急速な高齢化の進行、老人単独世帯の増加、医師・看護師等医療スタッフの確保、その他多くの問題を抱えている。

経営指標の一つである医業収支比率（医業収益／医業費用×100）を見ると平成21年度91.9%であったものが、平成28年度には77.9%まで悪化した。令和2年度は87.1%まで回復している。

総収支比率（総収益／総費用×100）については、令和2年度は100.4%であり、前年度の95.0%に比べ、5.4ポイント上昇している。主な原因は入院収益の増加や人件費の減少によるものである。

キャッシュ・フロー計算書によると、業務活動によるキャッシュ・フローは20,786,420 円、投資活動によるものは7,908,901 円、財務活動によるものは△21,585,413 円であり、現金及び現金同等物の期末残高は324,891,541 円となった。期首と比較すると、当期は4,837,815 円の純利益計上により7,109,908 円の増となっている。しかし、経営状況は依然として厳しい状況にあると考えられる（別表5）。

地域の人口減少、高齢化、診療報酬改定など病院経営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、経営悪化の大きな要因は医師の不足である。今年度は、入院収益が前年比101.9%、外来収益は患者数の減少により前年比91.2%となった一方で、人件費が前年比95.5%となり黒字決算となっているが、医師不足の解消に向けて、不断の取り組みを関係機関と共に行っていただきたい。

平成28年度に作成された新藤岡市国民健康保険鬼石病院改革プランに基づき、より抜本的な経営改革を図り、地域の中核病院として、住民が健康で安心して生活できる良質な医療が安定的に提供されるよう強く望むものである。

別 表

病院業務の概要

別表 1

①職員体制の推移

人

職 種	令和2年度			令和元年度			平成30年度		
	年度末職員数	比較	会計年度	年度末職員数	比較	嘱託・パート	年度末職員数	比較	嘱託・パート
医 師	2	△ 1	2	3	0	2	3	0	2
看 護 師	41	1	3	40	2	2	38	3	3
准 看 護 師	13	△ 3	4	16	0	2	16	△ 4	4
薬 剤 師	1	0	2	1	△ 2	2	3	3	1
診療放射線技師	2	0	1	2	0	1	2	0	1
臨床検査技師	3	0	0	3	0	0	3	1	1
理学療法士・作業療法士 ・言語聴覚士	9	△ 1	1	10	0	1	10	0	0
管理栄養士	2	0	0	2	0	0	2	0	0
視能訓練士	0	0	1	0	0	1	0	0	0
介護福祉士・介護員 ・介護支援専門員	12	0	4	12	3	7	9	3	9
事務職員	10	0	2	10	0	1	10	0	2
計	95	△ 4	20	99	3	19	96	6	23

②入院患者数の推移

人

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度		
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	
一 般	内 科	3,626	△ 723	4,349	△ 1,078	5,427	△ 1,742
	外 科	13,578	602	12,976	738	12,238	2,607
	眼 科	0	0	0	0	0	0
一般病床 計	17,204	△ 121	17,325	△ 340	17,665	865	
療養病床 計	15,834	1,133	14,701	△ 165	14,866	428	
合計	33,038	1,012	32,026	△ 505	32,531	1,293	

③病床利用率の推移

%

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	病床利用率	比較	病床利用率	比較	病床利用率	比較
一般病床	90.6	△ 0.4	91.0	△ 2.1	93.1	4.6
療養病床	92.3	6.8	85.5	△ 1.2	86.7	2.5
計	91.4	3.0	88.4	△ 1.6	90.0	3.6

④外来患者数の推移

人

区 分	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較
内 科	11,034	△ 1,773	12,807	100	12,707	△ 1,373
外 科	6,048	66	5,982	△ 55	6,037	491
整形外科	1,195	28	1,167	△ 521	1,688	△ 127
眼 科	461	△ 131	592	△ 10	602	16
皮膚科	129	△ 29	158	△ 22	180	58
計	18,867	△ 1,839	20,706	△ 508	21,214	△ 935

⑤地域別患者数の推移

人

入 院 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
平成30年度	9,247	11,091	20,338	3,832	8,361	32,531
令和元年度	9,972	9,666	19,638	3,340	9,048	32,026
令和2年度	11,155	10,725	21,880	3,050	8,108	33,038
地区別割合(3カ年平均)	31.1%	32.3%	63.4%	10.5%	26.1%	100.0%

外 来 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
平成30年度	12,628	1,316	13,944	654	6,616	21,214
令和元年度	12,833	1,227	14,060	502	6,144	20,706
令和2年度	11,645	1,145	12,790	508	5,569	18,867
地区別割合(3カ年平均)	61.0%	6.1%	67.1%	2.7%	30.2%	100.0%

別表1(続き)

(消費税抜き)(単位:円)

科目		令和2年度		令和元年度		平成30年度		
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比	
医業収益	入院収益	835,506,927	66.3	819,790,818	69.1	841,186,919	70.1	
	外来収益	120,288,164	9.5	131,829,976	11.1	141,347,751	11.8	
	その他医業収益	49,034,463	3.9	22,916,811	2.0	24,413,573	2.0	
	計	1,004,829,554	79.7	974,537,605	82.2	1,006,948,243	83.9	
医業費用	給与費	792,252,086	63.1	831,288,500	66.6	766,703,018	63.9	
	材料費	薬品費	36,953,735	2.9	44,347,257	3.5	47,486,862	4.0
		診療材料費、医療消耗備品費等	63,943,240	5.1	60,698,205	4.9	66,204,044	5.5
	減価償却費	62,241,936	5.0	64,845,237	5.1	65,331,183	5.4	
	資産減耗費	1,627,200	0.1	804,500	0.1	1,744,900	0.1	
	経費等	委託料	119,941,801	9.6	107,261,401	8.6	105,157,655	8.8
		その他	76,995,629	6.1	71,189,155	5.7	74,495,199	6.2
	計	1,153,955,627	91.9	1,180,434,255	94.6	1,127,122,861	94.0	
医業損益		△ 149,126,073	—	△ 205,896,650	—	△ 120,174,618	—	
医業外収益	受取利息及び配当金	20,614	0.0	45,471	0.0	70,163	0.0	
	他会計補助金	104,875,171	8.3	100,152,240	8.4	92,151,281	7.7	
	負担金交付金	60,370,964	4.8	52,136,127	4.4	45,763,433	3.8	
	その他	33,840,122	2.7	33,057,566	2.8	31,524,587	2.6	
	計	199,106,871	15.8	185,391,404	15.6	169,509,464	14.1	
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	7,687,651	0.6	8,659,669	0.7	10,941,637	0.9	
	その他	33,398,476	2.7	27,233,602	2.2	27,287,079	2.3	
	計	41,086,127	3.3	35,893,271	2.9	38,228,716	3.2	
医業外損益		158,020,744	—	149,498,133	—	131,280,748	—	
訪問看護収益	訪問看護ステーション収益	26,719,920	2.1	24,780,888	2.1	24,422,707	2.0	
	その他	1,090,920	0.1	1,211,792	0.1	0	0	
	計	27,810,840	2.2	25,992,680	2.2	24,422,707	2.0	
訪問看護費用	給与費	30,435,651	2.4	30,576,769	2.4	32,689,801	2.7	
	経費	1,432,045	0.1	1,234,808	0.1	1,193,253	0.1	
	計	31,867,696	2.5	31,811,577	2.5	33,883,054	2.8	
訪問看護ステーション損益		△ 4,056,856	—	△ 5,818,897	—	△ 9,460,347	—	
特別	利益	28,859,790	2.3	0	0	0	0	
	損失	28,859,790	2.3	0	0	0	0	
特別損益		0	—	0	—	0	—	
純損益		4,837,815	—	△ 62,217,414	—	1,645,783	—	

病院事業会計予算決算対照表

別表2

1. 収益的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

(消費税込み) (単位:円、△印減、%)

科目	区分					科目	区分					地方公営企業法第26条第2項繰越額	不用額	執行率	構成比
	予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比		予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比				
1 医業収益	987,099,000	1,007,939,794	20,840,794	102.1	79.8	1 医業費用	1,214,002,000	1,179,745,919	0	34,256,081	97.2	93.8			
(1)入院収益	834,482,000	835,506,927	1,024,927	100.1	66.1	(1)給与費	815,649,000	793,021,798	0	22,627,202	97.2	63.0			
(2)外来収益	113,939,000	120,288,164	6,349,164	105.6	9.5	(2)材料費	113,112,000	107,284,674	0	5,827,326	94.8	8.5			
(3)その他医業収益	38,678,000	52,144,703	13,466,703	134.8	4.2	(3)経費	218,998,000	214,242,729	0	4,755,271	97.8	17.0			
						(4)減価償却費	62,315,000	62,241,936	0	73,064	99.9	5.0			
2 医業外収益	196,183,000	198,788,498	2,605,498	101.3	15.7	(5)資産減耗費	1,678,000	1,627,200	0	50,800	97.0	0.2			
(1)受取利息及び配当金	75,000	20,614	△ 54,386	27.5	0.0	(6)研究研修費	2,250,000	1,327,582	0	922,418	59.0	0.1			
(2)他会計補助金	104,875,000	104,875,171	171	100.0	8.3	2 医業外費用	21,528,000	17,778,555	0	3,749,445	82.6	1.4			
(3)負担金交付金	60,472,000	60,370,964	△ 101,036	99.8	4.8	(1)支払利息及び企業債取扱諸費	7,912,000	7,687,651	0	224,349	97.2	0.6			
(4)患者外給食収益	1,000	0	△ 1,000	0	0	(2)患者外給食材料費	53,000	41,360	0	11,640	78.0	0.0			
(5)長期前受金戻入	25,825,000	27,580,742	1,755,742	106.8	2.2	(3)消費税	1,887,000	1,884,500	0	2,500	99.9	0.1			
(6)その他医業外収益	4,935,000	5,938,507	1,003,507	120.3	0.4	(4)雑損失	2,000	0	0	2,000	0	0			
(7)雑収益	0	2,500	2,500	-	0.0	(5)雑支出	11,674,000	8,165,044	0	3,508,956	69.9	0.6			
3 特別利益	28,861,000	28,859,790	△ 1,210	100.0	2.3	3 特別損失	29,361,000	28,859,790	0	501,210	98.3	2.3			
(1)固定資産売却収益	0	0	0	-	0	(1)固定資産売却損	0	0	0	0	-	0			
(2)過年度損益修正益	0	0	0	-	0	(2)過年度損益修正損	0	0	0	0	-	0			
(3)その他特別利益	28,861,000	28,859,790	△ 1,210	100.0	2.3	(3)その他特別損失	29,361,000	28,859,790	0	501,210	98.3	2.3			
4 訪問看護ステーション収益	28,013,000	27,919,920	△ 93,080	99.7	2.2	4 訪問看護ステーション費用	32,526,000	32,031,646	0	494,354	98.5	2.5			
(1)訪問看護収益	28,013,000	27,919,920	△ 93,080	99.7	2.2	(1)給与費	30,675,000	30,468,267	0	206,733	99.3	2.4			
						(2)経費	1,851,000	1,563,379	0	287,621	84.5	0.1			
						5 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0			
計	1,240,156,000	1,263,508,002	23,352,002	101.9	100.0	計	1,298,417,000	1,258,415,910	0	40,001,090	96.9	100.0			

2. 資本的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

科目	区分					科目	区分					地方公営企業法第26条繰越額	不用額	執行率	構成比
	予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比		予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比				
1 資本的収入	71,561,000	71,560,601	△ 399	100.0	100.0	1 資本的支出	92,257,000	89,603,239	0	2,653,761	97.1	100.0			
(1)企業債	19,800,000	19,800,000	0	100.0	27.7	(1)建設改良費	50,871,000	48,217,826	0	2,653,174	94.8	53.8			
(2)他会計補助金	51,760,000	51,760,601	601	100.0	72.3	(2)企業債償還金	41,386,000	41,385,413	0	587	100.0	46.2			
(3)固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0	0										

損益計算書前年度比較表

別表3

(消費税抜き) (単位:円、%)

科目	区分	令和2年度			令和元年度			平成30年度		
		金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比
(病院事業収益)		1,260,607,055	100.0	106.3	1,185,921,689	100.0	98.8	1,200,880,414	100.0	105.8
医療業収益		1,004,829,554	79.7	103.1	974,537,605	82.2	96.8	1,006,948,243	83.9	109.7
入院収益		835,506,927	66.3	101.9	819,790,818	69.1	97.5	841,186,919	70.0	111.2
外来収益		120,288,164	9.5	91.2	131,829,976	11.1	93.3	141,347,751	11.8	101.1
その他医療収益		49,034,463	3.9	214.0	22,916,811	2.0	93.9	24,413,573	2.0	111.6
医療外収益		199,106,871	15.8	107.4	185,391,404	15.6	109.4	169,509,464	14.1	88.0
受取利息配当金		20,614	0.0	45.3	45,471	0.0	64.8	70,163	0.0	68.2
他会計補助金		104,875,171	8.3	104.7	100,152,240	8.4	108.7	92,151,281	7.7	102.5
負担金交付金		60,370,964	4.8	115.8	52,136,127	4.4	113.9	45,763,433	3.8	66.6
患者外給食収益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
長期前受金戻入		27,580,742	2.2	98.4	28,033,993	2.4	103.6	27,071,223	2.3	90.4
その他医療外収益		5,389,194	0.4	139.1	3,873,777	0.3	107.3	3,608,644	0.3	107.7
雑収益		870,186	0.1	75.7	1,149,796	0.1	136.1	844,720	0.1	139.4
訪問看護ステーション収益		27,810,840	2.2	107.0	25,992,680	2.2	106.4	24,422,707	2.0	98.8
訪問看護収益		27,810,840	2.2	107.0	25,992,680	2.2	106.4	24,422,707	2.0	98.8
特別利益		28,859,790	2.3	皆増	0	0	—	0	0	—
特別利益		28,859,790	2.3	皆増	0	0	—	0	0	—
(病院事業費用)		1,255,769,240	100.0	100.6	1,248,139,103	100.0	104.1	1,199,234,631	100.0	100.4
医療費用		1,153,955,627	91.9	97.8	1,180,434,255	94.6	104.7	1,127,122,861	94.0	99.1
給与費		792,252,086	63.1	95.3	831,288,500	66.6	108.4	766,703,018	63.9	97.0
材料費		100,896,975	8.0	96.1	105,045,462	8.4	92.4	113,690,906	9.5	107.4
経費		195,730,570	15.6	110.9	176,427,758	14.1	99.2	177,789,842	14.8	104.8
減価償却費		62,241,936	5.0	96.0	64,845,237	5.2	99.3	65,331,183	5.4	94.5
資産減耗費		1,627,200	0.1	202.3	804,500	0.1	46.1	1,744,900	0.1	355.4
研究研修費		1,206,860	0.1	59.7	2,022,798	0.2	108.6	1,863,012	0.2	110.9
医療外費用		41,086,127	3.3	114.5	35,893,271	2.9	93.9	38,228,716	3.2	102.7
支払利息及び企業債取扱諸費		7,687,651	0.6	88.8	8,659,669	0.7	79.1	10,941,637	0.9	83.3
患者外給食材料費		37,600	0.0	72.3	52,000	0.0	127.5	40,800	0.0	121.4
消費税及び地方消費税		0	0	—	0	0	—	0	0	—
雑損失		0	0	—	0	0	—	0	0	—
雑支出		33,360,876	2.7	122.7	27,181,602	2.2	99.8	27,246,279	2.3	113.3
訪問看護ステーション費用		31,867,696	2.5	100.2	31,811,577	2.5	93.9	33,883,054	2.8	168.2
給与費		30,435,651	2.4	99.5	30,576,769	2.4	93.5	32,689,801	2.7	170.6
経費		1,432,045	0.1	116.0	1,234,808	0.1	103.5	1,193,253	0.1	121.7
特別損失		28,859,790	2.3	皆増	0	0	—	0	0	—
特別損失		28,859,790	2.3	皆増	0	0	—	0	0	—
(当年度純利益)		4,837,815		皆減	△ 62,217,414		△ 3,780.4	1,645,783		2.8
前年度繰越利益剰余金		△ 1,120,362,183		△ 105.9	△ 1,058,144,769		△ 99.8	△ 1,059,790,552		△ 105.9
その他未処分利益剰余金変動額		0		—	0		—	0		—
当年度未処分利益剰余金		△ 1,115,524,368		△ 99.6	△ 1,120,362,183		△ 105.9	△ 1,058,144,769		△ 99.8

別表5

◎総収支比率

$$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$$

※ 総収益と総費用を比較したもので、率が高いほどよいことを示す数値

区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
比率	100.4%	95.0%	100.1%

◎医業収支比率

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

※ 医業のみの収支を比較したもので、率が高いほどよいことを示す数値

区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
比率	87.1%	82.6%	89.3%

<キャッシュ・フロー計算書の読み方の例>

	業務活動	投資活動	財務活動	適用
パターン1	+	- (△)	- (△)	本業の業績は概ね好調であり、その資金を投資活動等に充てている状態。比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン2	+	- (△)	+	本業の業績は概ね好調であるが、投資活動の資金を借入に依存している状態で、今後の返済負担が想定される。
パターン3	- (△)	+	- (△)	本業の業績が厳しく、投資活動等を抑制し、借入金の返済を行っている状態。
パターン4	+	+	- (△)	現在の事業でまだ稼げているが、財務体質改善等を行うことで、現状を変革しようとしている状態。